

ごみ処理手数料・ごみ処分手数料の見直しについて（案）

住民・事業者説明会 開催結果

令和元年12月17日（火） 登別市婦人センター 参加人数 23名
 令和元年12月18日（水） 登別市民会館 参加人数 60名
 令和元年12月19日（木） 鷺別公民館 参加人数 44名 計127名

質問・意見等について

項目	No.	質問・意見の要旨	回答の要旨
改定の考え方について	1	令和1年から令和10年までの手数料収入の見直しについて、人口減少によると考えていると思うが、人口減少の見直しを伺いたい。	平成12年からこれまでの状況では、人口の減少とともにごみの量が減少している。将来的にも人口減少に伴うごみ量の減少、手数料収入の減少は避けられないと捉えている。
	2	白老町も同様に手数料の値上げが行われるのか。	クリンクルセンターでのごみ処理の経費を白老町と登別市のごみ量に応じて按分し、その按分金額を白老町が登別市に負担金として支払うという流れになっている。 白老町が町民から徴収するごみ処理手数料は、白老町の考えで値上げを行うこととなるため、白老町が本市と同時に値上げを行うとは限らない。
	3	燃やせるごみと燃やせないごみを合わせて検討しているが、それぞれ区別して考えるべきではないか。燃やせるごみは袋一杯にして出しているが、燃やせないごみは一杯にしない人が多く、排出量の少ない燃やせないごみは、割高になってくるのではないか。	クリンクルセンターでは、燃やせるごみ・燃やせないごみは、最終的には焼却施設で処理することから、施設全体で処理しているという考えで、値上げの検討についても一体的に考えている。 道内各市の燃やせるごみ・燃やせないごみの料金もほぼ同額としていることもあり、同様の考え方により設定している。 他市の実態として区別して設定する実例が出てきた場合は、次回の値上げの判断において参考としたいと考える。
	4	神奈川県海老名市で新しいごみ処理場を作ったという情報を聞いた。登別市のごみ処理の方針案策定にあたり、海老名市の事例は反映されているのか。	反映していない。考え方については、登別市独自の検討によるものである。
	5	値上げ幅が大きすぎる。徐々に値上げを行うことはできないのか。	段階的な値上げという考え方もあるが、受益者負担の2割を維持するためには、値上げせざるを得ないと考えている。しっかりとご理解いただけるよう市民周知を図っていきたい。

項目	No.	質問・意見の要旨	回答の要旨
改定の考え方について	6	手数料対象経費と手数料収入の推移を示す棒グラフは、数値が変動していないように見える箇所がいくつかある。実際の数値には変動はあるのか。	口頭による説明では割愛したが、具体的な数値も資料に記載している。単位が大きいためグラフでは増減がわかりにくいですが、表を見ていただくと、年度により経費や手数料収入には増減があることがわかる。
	7	受益者負担の割合は、どのようにして2割と決められているのか。	クリンクルセンター稼働当初からの目安として2割の負担と考えている。
	8	燃料調達にあたり、費用の削減はどのように行っているのか。	<p>クリンクルセンターで使用している重油は、全庁的に契約している胆振地方石油販売業協同組合の価格で購入している。</p> <p>電気使用料については、年間1億円程度使用しているが、新電力よりも安価である北海道電力との契約により調達している。</p> <p>その他、市民のごみ減量の周知や日頃から省エネルギーを心掛けた運転管理に努めている。</p>
	9	白老町との1市1町で処理している中、室蘭などの他市町村のごみを受け入れて収入に結びつけるという方法もあるが、どのように考えているのか。	建設当初から比較して2割程度人口が減少していることから、ごみ処理施設としての余力はあると考えられるが、一方で、延命化工事を行うため、運転日数が減少していることから、実際にはそれほど余力がないというのが実情であり、他市のごみを受け入れるまでには至っていない状況である。
	10	人口減少とごみ減量について、グラフなどを使いながらわかりやすく伝えてほしい。	今後における説明時の参考とさせていただきます。

項目	No.	質問・意見の要旨	回答の要旨
指定ごみ袋について	11	なぜ古いごみ袋に使用期限を設けるのか。	<p>市民の混乱を避け、スムーズに新しい袋に移行するため、これまで買って頂いた古い袋は使用期限（1～3ヶ月程度）を設けて使用できなくなるようにする予定である。</p> <p>他市の事例として、新旧の区別をつけなかったため、改訂前に袋を大量に購入し、改訂後に返還請求をして差額を受け取る不正が考えられることから、袋のデザインや色等についても変更する予定である。</p>
	12	<p>燃やせないごみ袋は10枚セットで購入しても使用頻度が少ないため余らせてしまう。ばら売りや、5枚セットなど、一組あたりの枚数を変更して余らないように購入できる仕組みを作って欲しい。</p> <p>また、手数料改定の際、シールを貼るなど、古いごみ袋を有効活用する方法も考えていただきたい。</p>	<p>ばら売りは一部店舗（5店舗）で行っているが、取扱店舗数を増やすことについて検討したい。1組あたりの枚数を少なくすると、包装にかかる費用が増加するという事情もあるが、5枚セットなどについて、今後検討していきたい。</p> <p>シールを貼る方法や、代金を返還する方法など、古いごみ袋が無駄にならないよう検討していきたい。</p>
ごみの減量化について	13	食品トレイをスーパーに持っていくなどのリサイクルに取り組んでいるが、登別市のリサイクル率はどのようになっているか。	<p>平成12年から平成30年までの間、1人1日当たりのごみ排出量は減っている。</p> <p>今後も減量することにより、施設に係る電気や燃料費の節約につながるだけではなく、令和12年度以降、仮に建て替えを行うとした場合に、より小さな焼却炉にすることができるという効果があるので、引き続き、ごみ減量へのご協力をお願いしたい。</p>
	14	ごみ減量化の取り組みの一つとして、市役所内や市役所から出される紙のペーパーレス化について、どのような取り組みを行っているのか。	<p>市役所内ではノートパソコンを持参して会議を行うなど、紙資料を削減する取り組みを今年度から実施している。</p> <p>市民向けには市公式ウェブサイトなどを活用して情報発信を行うことで、紙の削減に取り組んでいる。</p>
	15	紙の処理として、古紙回収ではなくシュレッダーをかけたものでも再生紙として受け入れる業者を探すなど、廃棄する以外の方法を更に検討してはどうか。	今後の参考としたい。
その他	16	令和12年度に建て替えをすることが決定されたように聞き取れる部分があった。	現時点では建て替えの判断は行っていない。誤解を招く伝え方とにならないよう気をつけたい。
	17	和暦、特に資料2ページのクリンクルセンター稼働開始年である「平成12年」には西暦を併記してほしい。	今後の資料作成の参考とさせていただきたい。

項目	No.	質問・意見の要旨	回答の要旨
その他	18	説明会を昼の時間帯にも実施してほしい。	昼の時間帯での開催も検討したい。
	19	市の広報紙は毎月個人配布しているが、個人には配布せず、町内会ごとに回覧を行うのみにして、配布部数を減らすことで紙の削減ができないのか。	現在、各町内会には月2回の回覧を行っていただいている。町内会回覧の枚数や負担が大きいという意見を受けており、町内会を担当している部署で、負担を軽減する方法を検討している。
	20	資源回収団体奨励金の継続や単価見直しの方向性は決まっているか。	継続する予定としている。単価の見直しを行う予定は今のところはないが、今後見直しを行う場合は、市民への周知を徹底したい。
	21	若年者や子育て世代など、高齢者世代以外に向けた周知として、公共施設や学校などを通じてチラシの配布などをしてはどうか。	周知を行う際の参考としたい。